

2022年1月期全塾協議会定例会議事録

2022年10月7日

全塾協議会

全塾協議会規約 第22条第1項に基づき、2022年1月29日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。ただし、役職役名ならびに条数は議会当時のものである。

議事概要記録

名称	2022年1月期全塾協議会定例会
場所	オンライン (Webex)
日時	2022年1月29日 18:00~21:00

出席者

	塾生代表	山田健太
文化団体連盟	文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長	松尾和真
体育会本部	体育会本部 現主幹	長谷川高規
全国慶應学生会連盟	全国慶應学生会連盟常任委員会 常任委員長	東條克哉
四谷自治会	四谷自治会 会長	藤村悠哉
芝学友会	芝学友会 会長	横山さくら
福利厚生機関	福利厚生機関本部 代表	松尾和真
	全塾協議会事務局 事務局長 (旧)	岩館則明
	全塾協議会事務局 事務局長 (新)	清瀬竜世
	全塾協議会事務局より他6名	
以下議案提出者	議員	横山さくら
	選挙管理委員会 副委員長	清瀬竜世
	福利厚生機関本部 代表	松尾和真
	全国慶應学生会連盟 元委員長	吉田凌太
	全国慶應学生会連盟 財務	萩原佳奈
	共済部 財務	和田知華子
オリエンテーション実行委員会	ステージ企画局長	岡崎里桜
	應援指導部 前学生代表	小畑彩花
	應援指導部 新学生代表	小竹栞
	應援指導部 吹奏楽団新会計	宮字地優花
應援指導部	チアリーディング部新会計	前野あい
	体育会本部 新主幹	菊池龍志
湘南学祭実行委員会	代表・財務代理	松井七海
	湘南自治会 現代表	松浦竹之介
	湘南自治会 新代表	市川裕也
	湘南自治会 新財務責任者	古館凛太郎

次第

項目	担当・議案提出者
1. 開会宣言	事務局長 岩館則明
2. 塾生代表挨拶	塾生代表 山田健太
3. 定足数確認	議事部長 在原拓哉
4. 配布資料の確認	
5. 議事録作成報告	
6. 議長の指名	
7. 議事	
(1) 塾生代表からの報告 [20220129-01-JSD]	塾生代表 山田健太
(2) 事務局からの報告 [20220129-02-JMK]	
i. 総務政策部報告	総務政策部長 清瀬竜世
ii. 財務部報告	財務部長 関田大輝
iii. 議事部報告	議事部長 在原拓哉
iv. 広報部報告	広報部 岩館則明
v. 局長報告	事務局長 岩館則明
(3) 議長の選任 [20220129-03-OTR]	議員 横山さくら
(4) 選挙管理委員会の 2022 年度塾生代表選挙の開票結果に関する報告 [20220129-04-SKN]	選挙管理委員会 副委員長 清瀬竜世
(5) 福利厚生機関本部の交代報告 [20220129-05-FKH]	福利厚生機関本部 代表 松尾和真
(6) 全国慶應学生会連盟の交代報告 [20220129-06-ZKR]	全国慶應学生会連盟 元委員長 吉田凌太 新委員長 東條克哉 新財務 萩原佳奈
(7) 共済部の独自財源特別支出承認申請 [20220129-07-KSB]	共済部 財務 和田知華子
(8) オリエンテーション実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220129-08-ORJ]	オリエンテーション実行委員会 ステージ企画局長 岡崎里桜

項目	担当・議案提出者
(9) 應援指導部の交代報告 [20220129-09-OES]	應援指導部 前学生代表 小畑彩花 新学生代表 小竹栞 吹奏楽団新会計 宮宇地優花
(10) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請 [20220129-10-OES]	應援指導部 チア新会計 前野あい 吹奏楽団新会計 宮宇地優花 吹奏楽団新会計 宮宇地優花（應援指導部 新会計代理）
(11) 應援指導部の交付金特別支出承認申請 [20220129-11-OES]	吹奏楽団新会計 宮宇地優花（應援指導部 新会計代理）
(12) 應援指導部の活動報告 [20220129-12-OES]	應援指導部 新学生代表 小竹栞
(13) 体育会本部の交代報告 [20220129-13-TKH]	体育会本部 現主幹 長谷川貴規 新主幹 菊池龍志
(14) 湘南学祭実行委員会の独自財源特別支出承認 [20220129-14-SNG]	湘南学祭実行委員会 代表代理・財務代理 松井七海
(15) 湘南学祭実行委員会の団体規約についての報告 [20220129-15-SNG]	湘南学祭実行委員会 代表代理 松井七海
(16) 湘南自治会の交代報告 [20220129-16-SJK]	湘南自治会 現代表 松浦竹之介 新代表 市川裕也 新財務責任者 古舘凜太郎
(17) 湘南自治会の団体規約についての報告 [20220129-17-SJK]	湘南自治会 現代表 松浦竹之介
(18) 全塾協議会事務局の新歓実行委員会の委員の任命に関する議案 [20220129-18-JMK]	新歓実行委員会 現副委員長 遠國竜祐 業務統括責任者候補 清瀬竜世
(19) 全塾協議会事務局の新歓実行委員会の監査役の任命に関する議案 [20220129-19-JMK]	全塾協議会事務局 事務局長 岩館則明
(20) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案 [20220129-20-JMK]	全塾協議会事務局 事務局長 岩館則明

項目	担当・議案提出者
(21) 全塾協議会事務局の交代承認申請 [20220129-21-JMK]	全塾協議会事務局 事務局長（旧） 岩館則明 事務局長（新） 清瀬竜世
(22) 全塾協議会事務局の事務局規則改正の承認を求める議案 [20220129-22-JMK]	全塾協議会事務局 前事務局長 岩館則明
(23) 塾生代表の全塾協議会の基本政策に関する議案 [20220129-23-JSD]	塾生代表 山田健太
8. 連絡事項	議事部長 在原拓哉
9. 閉会宣言	事務局長 岩館則明

議決事項

議案識別子	提出者	議案名	可否
20220129-01-JSD	塾生代表	業務報告	採決なし
20220129-02-JMK	全塾協議会事務局	業務報告	採決なし
20220129-03-OTR	議員	議長の選任	採決なし
20220129-04-SKN	選挙管理委員会	2022 年度塾生代表選挙の開票結果に関する報告	採決なし
20220129-05-FKH	福利厚生機関本部	交代報告	採決なし
20220129-06-ZKR	全国慶應学生会連盟	交代報告	採決なし
20220129-07-KSB	共済部	独自財源特別支出承認申請	可決
20220129-08-ORJ	オリエンテーション実行委員会	独自財源特別支出承認申請	取り下げ
20220129-09-OES	應援指導部	交代報告	採決なし
20220129-10-OES	應援指導部	独自財源特別支出承認申請	可決(修正)
20220129-11-OES	應援指導部	交付金特別支出承認申請	可決
20220129-12-OES	應援指導部	活動報告	採決なし
20220129-13-TKH	体育会本部	交代報告	採決なし
20220129-14-SNG	湘南学祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220129-15-SNG	湘南学祭実行委員会	団体規約についての報告	採決なし
20220129-16-SJK	湘南自治会	交代報告	採決なし
20220129-17-SJK	湘南自治会	団体規約についての報告	採決なし
20220129-18-JMK	全塾協議会事務局	新歓実行委員会の委員の任命に関する議案	可決
20220129-19-JMK	全塾協議会事務局	新歓実行委員会の監査役の任命に関する議案	可決
20220129-20-JMK	全塾協議会事務局	所属団体に関する議案	可決
20220129-21-JMK	全塾協議会事務局	交代承認申請	可決
20220129-22-JMK	全塾協議会事務局	事務局規則改正の承認を求める議案	可決
20220129-23-JSD	塾生代表	全塾協議会の基本政策に関する議案	採決なし

2023 年 9 月 30 日 議事録作成

全塾協議会事務局 事務局長

岩館則明

(署名)

全塾協議会規約第 22 条に基づき、事務局長の署名は省略する。

この議事録が正確であることを証する。

塾生代表

山田健太

(署名)

山田 健太

全塾協議会 議長

横山さくら

(署名)

2023年10月7日付で議事録を真正なものであると確認した。

議事詳細記録

1. 開会宣言

事務局長 岩館則明が開会を宣言した。

2. 塾生代表挨拶

塾生代表 山田健太が挨拶を行った。

3. 定足数確認

議事部長 在原拓哉による点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。

4. 配布資料の確認

議事部長 在原拓哉が、既に配布された資料の確認を行った。

5. 議事録作成報告

議事部長 在原拓哉が、議事録作成2ヶ月分が完成した旨、その他の議事録の作成に関しては、現在割り振りができていないのは2ヶ月分のみとなっている旨、今後は議会を行った次の月には作成が終了するように調整していきたいという旨を報告した。

6. 議長の指名

議事部 在原拓哉は、全塾協議会規約 第10条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、満場一致で芝学友会代表 横山さくらが議長に選任された。

7. 議事

(1) 塾生代表からの業務報告

塾生代表 山田健太は、選挙が終了したため各種団体との面談を再開し、現時点で計8つの団体と進めていることを報告した。また、本年の全塾協議会をどうしていくのかについて、今回全塾協議会事務局から提出がある事務局規則について、そして新歓実行委員会の進捗について対応していることを報告した。さらに、大学および学生部とは必要なやり取りや要請を行っており、すべてが提出内容に合致していたわけではなかったものの、要請していた生理用品の無償提供を全キャンパスで実現させたことを報告した。

(2) 事務局からの業務報告

i. 総務政策部報告

ワクチンサイトの更新、特別委員会への人員拠出を行い、各種面談に参加したと報告した。

ii. 議事部報告

定例会の準備や運営、決議書や登記書類など書類関連の回収管理を行った旨、代交代関連および議案提出関連のメール対応を行った旨を報告した。また現在登記事項確認書の Google Form 化を検討していると述べた。加えて今年度議事部長への業務説明や引継ぎを進めているとした。

iii. 財務部報告

新体制に向けた業務の引継ぎ、12月特別支出許可番号の発行、特別支出関連資料の更新を行ったと報告した。また、財務管理の手引き第12版を発行し、Webサイトへの掲載を開始したとした。K-Projectについては交付額決定に伴う諸対応を行ったとした。1月希望の団体への交付額交付は済んでおり、2月以降希望の団体へは順次交付を進めていく予定であると述べた。また、新財務を Slack に招待し、過年度財務を Slack から退会させたと述べた。

加えて、12月期財務講習会を実施し、今後の財務講習会に向けた改善策を検討した。全塾協議会事務局の2021年度会計の精算を行った。また、12月締め団体に2月末までの決算書類の提出を、上部団体に一次監査の依頼を行ったと述べた。

iv. 広報部報告

全塾協議会ホームページサーバ移管にかかわる手続きについて検討したと報告した。こちらは同じサーバ内で異なるプランにすることで、コストの削減を図るためのものであるとした。また、来年度の全塾協議会事務局の新歓についての説明、次年度の部長へ引継ぎを行ったと報告した。

v. 事務局長報告

所属団体に関する報告書を作成し、次年度に向けた業務の引継ぎを行ったと説明した。

(3) 議長の選任

今年度3月まで、議長を芝学友会代表 横山さくらが続投することが全会一致で可決され、塾生代表が承認した。

(4) 選挙管理委員会の2022年度塾生代表選挙の開票結果に関する報告

選挙管理委員会副委員長 清瀬竜世が、2022年度塾生代表選挙の開票結果を報告した。報告内容は以下の通りである。

有権者数 28,323 人のうち、有効投票数 4,179 票、無効投票数は 1 票で、投票率は 14.75% となった。有効票の内訳は、No.1 小幡規之に 1,853 票 (44.34%)、No.2 山田健太に 1,951 票 (46.68%)、白票として 375 票が集まった。広報活動には SNS による通知や個人のクラス LINE を使用した。また、keio.jp で 6 回の配信を行った結果 6,941 回のセッション中 1,537 回閲覧された。YouTube での PV と討論会 2 回 (1 回目: 12/1 に全面オンラインで開催し、再生数は 643 回。2 回目: 12/17 に一部対面で開催し、再生

数は 342 回) を配信し、SFC Clip や塾生新聞へのバナー広告および記事の掲載も行った。ポスターは 3 種類、学生団体専用の掲示板などに掲載した結果、それぞれ 20 回、15 回、16 回 QR が読み込まれた。塾生代表選挙の開催を目に留めてもらうことが目的であり、知名度向上につながった。食堂の 4 箇所にポスターを掲示した結果、計 50 回アクセスがあった。選挙管理委員会でも拡声器を用いてビラ配りを行い、3 カ所で毎日配布した結果、800 枚配布したうち 277 回アクセスがあった。投票所は日吉と SFC に設置し、呼びかけと投票所を目につく位置に置くことで注目を集められるようにした。タブレットでの投票は行わなかった。今年度も広報はがきを内部の業者に発注し送付した結果、957 回のアクセスを獲得した。Web 自体に keio.jp 認証 6941 のセッションを確認。Twitter では慶應生でも選管に登録していない人が多いので、例年のつぶやきを行い広告を出した。

(5) 福利厚生機関本部の交代報告

福利厚生機関本部より交代報告が上程され、新代表に松尾和真、新財務に齋藤英里伽が就任した。松尾は「交代します。一年間全力で努めますので、お願いします」と述べた。議長 横山さくらから「抱負をお願いします」と尋ねられると、松尾は「本日初めて定例会に参加して雰囲気はわかってきたので、皆様の力になれば、と思います」と回答した。さらに、塾生代表 山田健太から「前任者からは引き継ぎは十分に受けられているか」と尋ねられると、松尾は「できていません」と回答した。

(6) 全国慶應学生会連盟の交代報告

全国慶應学生会連盟より交代報告が上程され、新委員長に東條克哉、新財務に萩原佳奈が就任した。全国慶應学生会連盟旧委員長 吉田凌太は「2 年間お世話になりました」と述べ、東條は「去年は財務を務めていてコロナによってもがき苦しんだが、上部団体の議員として、良い活動ができるように邁進してまいりたいと思います」と述べた。萩原は「まだまだ未熟ですが、力になれるよう頑張るので宜しくお願いいたします」と述べた。

(7) 共済部の独自財源特別支出承認申請

共済部より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥208,000	事前	昼食代	下宿紹介参加者への昼食の提供	2022 年 2 月後半
2	¥78,600	事前	交通費	下宿紹介参加者への交通費の支払い	2022 年 2 月後半

共済部財務 和田知華子より、下宿紹介の参加学生について、教室での食事が禁止であったため、近くの飲食店で食事できるように 800 円を支給したいと報告があった。議案資料に対して財務部長 関田大輝から、1 年生に向けた交通費支給に関して表の一番上と一番下が同じになっているがどういうことになっているのか、との質問があった。それに対して和田は、その 2 名は別の学生であると回答した。また関田から、学生は定期券を所有していないのか、との質問があった。それに対して和田は、所有していないという旨の回答を行った。さらに関田から、三田部室の電話代についての進捗を把握しているのか、との

質問があった。それに対して和田は、前財務の担当になっているため連絡を取って確認していくと回答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。その際山田は、状況を見て食事の制限をできる限りしてほしいと呼びかけた。

(8) オリエンテーション実行委員会の独自財源特別支出承認申請

オリエンテーション実行委員会より独自財源特別支出承認申請が上程されたが、塾生代表 山田健太は本議案を取り下げた。

(9) 應援指導部の交代報告

應援指導部より交代報告が上程され、新学生代表に小竹栞、新本部会計に中島由菜、新吹奏楽団会計に宮宇地優花、新チアリーディング部会計に前野あいが就任した。應援指導部旧学生代表 小畑采花は「引退します」と、小竹は「本年度代表を務めます。宜しくお願いいたします」と、述べた。議長 横山さくらから「ほかにいますか」と尋ねられると、小竹は「会計の方も新代表の中島がいます」と回答した。その際宮宇地は、「中島は体調不良で欠席なので、吹奏楽団の宮宇地からご挨拶させていただきます」と述べた。

(10) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請

應援指導部チアリーディング部会計より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥43,500	事前	1月分コーチ代	技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として	2022年2月
2	¥65,000	事前	2月分コーチ代	技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として	2022年3月
3	¥159,500	事前	3月分コーチ代	技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として	2022年4月
4	¥116,000	事前	4月分コーチ代	技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として	2022年5月
5	¥130,500	事前	5月分コーチ代	技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として	2022年6月
6	¥116,000	事前	6月分コーチ代	技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として	2022年7月
7	¥130,500	事前	7月分コーチ代	技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として	2022年8月
8	¥194,500	事前	8月分コーチ代	技術向上、及び安全の為にテクニカルコーチ代として	2022年9月

9	¥235,000	事前	9月分コーチ代	技術向上、及び安全の為のテクニカルコーチ代として	2022年10月
10	¥206,000	事前	10月分コーチ代	技術向上、及び安全の為のテクニカルコーチ代として	2022年11月
11	¥307,500	事前	11月分コーチ代	技術向上、及び安全の為のテクニカルコーチ代として	2022年12月
12	¥174,000	事前	12月分コーチ代	技術向上、及び安全の為のテクニカルコーチ代として	2023年1月
13	¥7,000	事前	音響作成依頼費	応援活動で使用する音源作成依頼代として	2022年2月～12月
14	¥10,000	事前	音響作成費	本年度定期演奏会で使用する音源作成依頼代として	2022年6月～10月
15	¥100,000	事前	撮影・編集費	本年度定期演奏会に向けた動画の撮影・編集費として	2022年9月～12月
16	¥15,000	事前	新歓活動にて使用するお茶会代	新歓活動にて使用するお食事会代として	2022年3月～6月
17	¥6,000	事前	新歓活動にて使用する飲食物代	新歓活動にて使用する飲食物代として	2022年3月～6月
18	¥6,400	事前	OG会の飲料費	OG会開催に伴う飲料費として	2022年8月～12月
19	¥210,000	事前	器材車関連費	部活動で使用する器材車の関連費として	2022年2月～12月
20	¥150,000	事前	体調不良部員搬送のためのタクシー代	体調不良部員搬送のためのタクシー代として	2022年2月～12月
21	¥120,000	事前	CDE Cheerleading Championship2022の参加費用	CDE Cheerleading Championship2022に出場する為	2022年9月～12月
22	¥13,500	事前	チーム T シャツ代	チーム T シャツ代として	2022年9月～12月
23	¥290,000	事前	ペンライト代	定期演奏会で使用する器材費として	2022年9月～12月
24	¥362,275	事後	11月分コーチ代	技術向上、及び安全の為のテクニカルコーチ代として	2021年12月
25	¥31,856	事後	11月分コーチ代	技術向上、及び安全の為のテクニカルコーチ代として	2021年12月
26	¥139,270	事後	12月分コーチ代	技術向上、及び安全の為のテク	2022年1月

				ニカルコーチ代として	
27	¥26,070	事後	レンタカー代	部活動で使用する器材車の関連費として	2021年11月
28	¥24,000	事前	熱中症対策代	部活動中の熱中症対策の為に飲食代として	2022年2月～12月

議案資料に対して財務部 土肥諒紀は、除菌スプレーおよび熱中症対策のヒヤロンなどは申請が不要なので項目を削除してよいとの指摘をした。また土肥は3点質問があるとし、1つ目は人件費について、1月分の指導料がない理由はコロナでコーチが来ないからなのか、2つ目は交通費の体調不良部員搬送のためのタクシー代について、体調不良者がどれくらいの割合で生じたのか、また各練習でどれだけ熱中症者が出たのか、3つ目は事後申請の人件費について、11月および12月分のコーチ代が高くなっているが、その内訳はどうなっているのか、にご回答いただきたいと述べた。それに対して應援指導部チアリーディング部会計 前野あいから、1つ目については対面での活動が不可能になったため、2つ目については屋上にて体調不良者が出てタクシーを使うことが多かったため、3つ目については2時間当たりの金額が高いうえに、定期演奏会のための活動が多いためであると回答した。

さらに財務部長 関田大輝から、今年の申請額が30万円となっているがこれをオーバーする予定はないということよいか、と質問があった。それに対して前野から、オーバーする場合は事前をお願いするつもりであるとの回答があった。また塾生代表 山田健太から、OG会の飲料費は何のための何であるか、と質問があった。これに対して前野から、OBOGとかかわる1年に1回の機会のためのお茶代であり、ペットボトルが1本160円だとして計算しているとの回答があった。

應援指導部吹奏楽団会計より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥80,000	事前	1月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年1~3月
2	¥80,000	事前	2月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年1~3月
3	¥80,000	事前	3月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年3~4月
4	¥80,000	事前	4月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年4~5月
5	¥80,000	事前	5月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年5~6月
6	¥80,000	事前	6月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年6~7月
7	¥80,000	事前	7月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年7~8月
8	¥80,000	事前	8月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年8~9月
9	¥80,000	事前	9月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年9~10月
10	¥80,000	事前	10月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年10~11月
11	¥80,000	事前	11月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年11~12月
12	¥80,000	事前	12月分コーチ代	コーチ代(黒瀬大輔氏)として	2022年12月
13	¥70,000	事前	黒瀬先生定期演	定期演奏会指揮代(黒瀬先生)と	2022年12月

			奏会指揮代	して	
14	¥50,000	事前	体調不良部員搬送のためのタクシー代	体調不良部員搬送のためのタクシー代として	2022年1~12月
15	¥17,000	事前	東京六大学野球春季リーグ戦にて使用する飲料水	東京六大学野球春季リーグ戦にて使用する予備水代 2 リットルのスポーツドリンク 200 円×85 本として	2022年3~5月
16	¥20,000	事前	新歓活動にて使用する飲食物代	新歓活動にて使用する飲食物代 2リットルのソフトドリンク 200 円×50 本、お菓子詰め合わせ 200 円×50 袋として	2022年4月~6月
17	¥8,000	事前	4~7月の各種応援活動にて使用する飲料水代	応援活動にて使用する予備水代 2 リットルのスポーツドリンク 200 円×40 本	2022年2~12月
18	¥2,000	事前	卒業生への色紙代	卒業生への色紙代 10 枚として	2022年2~3月
19	¥18,000	事前	卒業生への記念品代	卒業生への記念品代 2,000 円×9 人分として	2022年2~3月
20	¥8,000	事前	東京六大学野球春季リーグ戦にて使用する氷	東京六大学野球春季リーグ戦にて使用する氷代として	2022年4~6月
21	¥3,000	事前	東京六大学野球春季リーグ戦にて使用する氷の袋	東京六大学野球春季リーグ戦にて使用する氷の袋代として	2022年4~6月
22	¥400,000	事前	部員への前期渉外活動還元金	還元金 20,000 円×部員 20 名分として	2022年2~9月
23	¥12,500	事前	2022 年度分東京都大学吹奏楽連盟及び東京都吹奏楽連盟の連盟費	2022 年度分東京都大学吹奏楽連盟及び東京都吹奏楽連盟の連盟費として	2022年1~12月
24	¥6,000	事前	2022 年度分東京都大学吹奏楽連盟親睦会参加費	2022 年度分東京都大学吹奏楽連盟親睦会参加費として	2022年1~12月

応援指導部吹奏楽団会計 宮宇地優花より、コーチが変更になったことと、還元金が 40,000 円程度とな

ることについて報告があった。それに対して土肥は、ヒヤロンと還元金について対応を求めると同時に、祝電費も申請不要なので削除してよいと述べた。

應援指導部会計より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥200,000	事前	給油代	器材車の給油のため	2022年2月以降
2	¥50,000	事前	外部駐車場代	各種活動で外部駐車場を利用するため	2022年4月以降
3	¥260,000	事前	レンタカー代	各種活動で器材運搬のためにレンタカーを使用するため	2022年4月以降
4	¥4,650	事後	日本酒代	武道系體育會激励会の日本酒贈呈式で使用する日本酒代	2021年12月
5	¥16,000	事後	献花代	福澤先生法要で献花するため	2022年1月

全塾協議会はこれらを全会一致で可決し（福利厚生機関本部は全塾協議会規約第17条第2項より不参加）、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。その際山田は、飲食費はコロナの状況を見て、適切に運用するよう呼びかけた。

(11) 應援指導部の交付金特別支出承認申請

應援指導部より交付金特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥198,000	事前	月極駐車場代	部所有の器材運搬車の固定駐車場代	2022年1月～12月
2	¥350,000	事前	自動車保険費	部所有の器材運搬車の自動車保険費	2022年1月
3	¥170,000	事前	車検更新費	部所有の器材運搬車の車検更新費	2022年5月
4	¥15,000	事前	駐車場契約更新代	部所有の器材運搬車の固定駐車場契約更新費	2022年3月頃
5	¥19,500	事前	自動車税	部所有の器材運搬車の自動車税	2022年5月
6	¥400,000	事前	レンタカー代	東京六大学野球春季及び秋季リーグ戦における器材運搬のためのレンタカー借用費用	2022年4月～10月
7	¥120,000	事前	外部駐車場代	東京六大学野球春季及び秋季リーグ戦における器材運搬のためのレンタカーの外部駐車場代	2022年4月～10月
8	¥100,000	事前	レンタカー代	春季慶早戦における器材運搬のためのレンタカー借用費用	2022年5月
9	¥100,000	事前	レンタカー代	秋季慶早戦における器材運搬のための	2022年10月

				レンタカー借用費用	
--	--	--	--	-----------	--

議案資料に対して財務部 土肥諒紀から、自動車保険および車検にかかる費用が高額だが、保有している器材車 1 台に対する金額になっているのか、と質問があった。それに対して應援指導部会計代理 宮宇地優花は、その認識で合っていると回答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。その際山田は、有効活用するよう呼びかけた。

(12) 應援指導部の活動報告

應援指導部学生代表 小竹栞より、活動内容が 3 点報告された。1 つ目は體育會各部の応援活動であり、拳法、少林寺拳法、弓術等の競技において寒稽古に伺った旨、またアイスホッケーの応援活動を実施した旨を報告した。2 つ目は各部門での対面練習の実施であり、活動停止要請を受けるまでは感染症対策の下で通常通り練習を行ったと述べた。3 つ目は執行部会・定例会・役員会の実施であり、再建期間を経て毎月全部員で決める必要がある項目を執行部会にて整理した上で、定例会で全部員の意見の吸収、及び賛否を議案に対して取り、部長およびコーチに役員会の場で報告したとした。

これに対して塾生代表 山田健太から、現時点で新型コロナウイルスの感染者が確認されたか、と質問があった。それに対して小竹は、数名確認された、と回答した。さらに山田は、確認された感染者について団体内で自ら申請が来ているのかと質問した。それに対して小竹は、本人から連絡してもらい、濃厚接触者には活動自粛を求めている、と回答した。

(13) 体育会本部の交代報告

体育会本部より交代報告が上程され、新主幹に菊池龍志、新財務に仁禮太河が就任した。体育会本部旧主幹 長谷川貴規は「交代報告書ということで、21 年担当の長谷川と藤川が交代し、22 年度は菊池龍志、仁禮太河となります。この一年大変ご迷惑をおかけいたしました。今後ともよろしく願いいたします」と、菊池は「まだ至らない点もあるが、上部団体とともに体育会を盛り上げていきたいので、よろしく願いいたします」と述べた。塾生代表 山田健太は、「長谷川さん 1 年間ありがとうございました。菊池さんはこれからよろしく願いいたします。」と述べた。

(14) 湘南学祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

湘南学祭実行委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥14,982	事前	名刺印刷代	渉外活動のため	2022 年 2 月前半
2	¥1,100	事前	送料	印刷した名刺の送料	2022 年 2 月前半

湘南学祭実行委員会代表代理 松井七海より、2 月から課外活動の許可ができ次第対面での渉外を行う予定であり、名刺は 10 パターンと 20 パターンがどちらも 10 人分であると報告があった。それに対して

塾生代表 山田健太から、なぜ 10 パターンと 20 パターンに分けているのか、と質問があった。それに対して松井は、ラクスルは 20 パターンまでしか注文できないためである、と回答した。また山田は、余裕をもって合計 30 パターンにしているのか、と質問した。それに対して松井は、その通りであると回答した。山田は、名刺が余り過ぎて問題になることもあるので、そうならないよう気を付けてほしいと呼びかけた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。その際山田は、有効活用するよう呼びかけた。

(15) 湘南学祭実行委員会の団体規約についての報告

湘南学祭実行委員会代表代理 松井七海より団体規約についての報告が行われた。松井は、第 10 条の一部不要な箇所と第 19 条の日本語の不備を削除し、第 21 条は会計期間が半年であったため 1 年に変更した、と報告した。

塾生代表 山田健太から、本質的に内容が変わったのは第 21 条だけであるか、と質問があった。それに対して松井は、その通りであると回答した。また財務部長 関田大輝から、2022 年度予算が提出されていないので、2 月期定例会での審議に向けて団体内で協議を進めてほしい点、旧秋祭実行委員会の繰越金は湘南学祭実行委員会に引き継がれていて、旧七夕祭実行委員会の独自財源は 909,804 円となっている点、団体が変わるときは口座を別に作らなくてはならず、湘南学祭実行委員会の口座を作った後、旧秋祭実行委員会のお金を移転し、旧七夕祭実行委員会のお金を移転する必要がある点について指摘があった。山田は、今年度は資金移転して口座内に資金が潤沢にあると思うが、本年度の申請は例年通りにするのか、それとも交付金は不要となりそうなのか、と質問した。松井は、それについては役員会で話し合っているので明言はできない、と回答した。それに対し山田は、翌週中に事務局財務部宛に、今どれくらいの資金を持っていて、年度交付金はどうするつもりなのかの方向性を教えてほしい旨、団体規約について訂正したものを議場に持ってくる場合は、その前のものと異なる所を赤にするなどしてわかりやすくしてほしい旨を伝えた。

(16) 湘南自治会の交代報告

湘南自治会より交代報告が上程され、新代表に市川裕也、新財務に古舘凜太郎が就任した。湘南自治会旧代表 松浦竹之介は「後任のものに交代致します。承認投票や正式加盟など、恩に預かるものばかりで申し訳ないが宜しくお願いいたします」と、市川は「湘南自治会はまだまだ出来て日が浅いが、これを発展させるべく努力していきます」と、古舘は「健全な財務管理体制の構築に尽力していきたいです」と述べた。

(17) 湘南自治会の団体規約についての報告

湘南自治会執行委員 松浦竹之介より団体規約についての報告が行われた。松浦は、総会における投票権を持たない例外はなかったが、選挙管理委員会を構成する人間が投票権を持つと悪用できるため、例外として選挙管理委員会の人間は投票権を要さないとした、と報告した。

塾生代表 山田健太から、登記は済んでいるとの認識でよいのか、と質問があった。それに対して事務

局長 岩館則明から、登記の書類は存在せず報告のみである、と回答があった。それに対して山田は、問題はなく、内容について質問がある議員がいれば何う形でよい、と述べた。

(18)全塾協議会事務局の新歓実行委員会の委員の任命に関する議案

全塾協議会事務局より、新歓実行委員会の委員の任命に関する議案が上程された。2022 年度新歓実行委員会の委員長に遠國竜佑、副委員長に浅野悠人、杉林滯、藤村悠哉、鈴木葉音、業務統括責任者に清瀬竜世、財務に大澤治香を任命するにあたって承認を求めた。その際事務局長 岩館則明から、特別委員会の議員の任命なので事務局から議案を出した点、予算の話し合いは審議がないためリーダーズキャンプで実施する予定である旨説明があった。塾生代表 山田健太は、発足については自分が動いたが、本年度も事前に相談しコンセンサスをとったものになっている、と述べた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し（四谷自治会は全塾協議会規約第 17 条第 2 項より不参加）、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。その際山田は、今年の新歓を盛り上げていくよう呼びかけた。

(19)全塾協議会事務局の新歓実行委員会の監査役の任命に関する議案

全塾協議会事務局より、新歓実行委員会の監査役の任命に関する議案が上程された。2022 年度新歓実行委員会の監査役に本間遥香の任命を求めた。その際事務局長 岩館則明から、監査役は全塾協議会の承認を受けるものであるため、議案として提出しているとの説明があった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(20)全塾協議会事務局の所属団体に関する議案

全塾協議会事務局より、所属団体に関する議案が上程された。

事務局長 岩館則明から、全塾協議会所属団体の矢上祭実行委員会について、会食が大学の許可なく行われた件および矢上祭の開催にあたり外部企業との契約で疑念点が生じた件があったので報告するとの説明があった。その後岩館は議員に対し、この 2 件が処分を必要とする案件か判断していただき、処分が必要であれば処分審査会を再度任命することを求めた。それに対し塾生代表 山田健太は、処分審査会司会として文化団体連盟三田本部常任委員会 松尾和真、その他構成員として全国慶應学生会連盟常任委員会 東條克哉、四谷自治会 藤村悠哉、芝学友会 横山さくら、應援指導部 小竹栞、全塾協議会事務局 関田大輝および舟山純平を任命した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は処分審査会の任命を承認した。

処分審査会では、矢上祭実行委員会に対する処分内容を決定した。会食の件については、本件に関する顛末書及び始末書を 2022 年 2 月 19 日までに議会に対して書面にて提出すること、活動状況等の各種情報共有を行うため、矢上祭実行委員会内の組織のチャットグループ等の連絡ツールを日常的に執行部の構成員が巡回できるようにする方法を検討した上で議会に報告し、この承認を議会から得ること、議会からの承認が得られるまで、矢上祭実行委員会の構成員が対面での活動を慶應義塾大学のキャンパス外で行うことを禁止すること、議会からの承認が得られてから 2022 年 7 月 31 日まで、慶應義塾大学のキャンパス外で行う対面での活動を行う場合は、事前に議会にその活動内容を書面にて提示し、議会の議決による許可を得ること、2022 年度の矢上祭終了の翌月分まで、事務局に対して毎月 10 日までにその

先月の活動報告を提出することとした。契約の件については、「ミス・ミスター慶應理工コンテスト」或いはこれに代わるものとして全塾協議会が議決によって見なした企画に対して、企業等の学外団体の協賛を受ける場合、全塾協議会の議決による承認を受けること、全塾協議会は議決によってこれを部分的又は全面的に破棄できることを了承すること、矢上祭実行委員会が企業等の学外団体と締結する全ての契約について、委員長が承認すること、2022年2月28日までにこの手順を検討した上で議会に報告し、これに承認を得ること、2022年2月28日までに、矢上祭実行委員会内の活動を日常的に自ら精査する方法を検討した上で議会に報告し、これに承認を得ることとした。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。

(21) 全塾協議会事務局の交代承認申請

全塾協議会事務局より交代承認申請が上程され、新事務局長に清瀬竜世の任命を求めた。塾生代表 山田健太から、事務局長の役職は他のものと何が異なるのか、と質問があった。それに対して事務局長 岩館則明から、事務局長は全塾協議会の中の決まり事を施行する事務局の長であり、自分が行ったことや決算のチェックの責任者の役割を担い、規約にて承認が必要となっている、と回答があった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。その際清瀬は、「岩館さんのもとの二年間研鑽を積んできたので、全塾協議会および事務局に尽力できたらと思います」と述べた。

(22) 全塾協議会事務局の事務局規約の改正の承認を求める議案

全塾協議会事務局より事務局規約の改正の承認を求める議案が上程された。旧事務局長 岩館則明は、所属団体の規則は報告のみで十分だが、事務局のものについては承認が必要である点、第2章第6条について事務局次長がこれまでは事務局長の権限で任命されていたが、事務局長が不慮の事故等で欠けたときに備えて今回規則に正式に設けた点、第6章の第20条について事務局内の総会の招集は全事務局員の3分の1の要求が必要であったが、4分の1に変更した点、同条について、事務局長しか総会の招集ができなかったが、事務局長および役員が招集できるようにした点を説明した。それに対して塾生代表 山田健太は、「次長のところが大事であり、これは私のポジションにも必要だと思っています」と述べた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 山田健太は本決議を承認した。その際山田は、次長には次回以降どこかで挨拶してもらいたい、と述べた。

(23) 塾生代表の全塾協議会の基本政策に関する議案

塾生代表 山田健太より、全塾協議会の基本政策に関する議案が上程された。山田は、第4番項の選挙結果の通り、第5代から引き続き第6代の塾生代表に就任したと報告した。その後、全塾協議会の基本政策に関して以下の通り3点述べた。

1点目は昨年度から検討を進めていた全塾協議会全体での Slack 導入についてであり、今月の定例会終了後に議員の方に入ってもらうことにしており、状況に応じて議会 LINE を Slack に移行していくことを念頭に置き、最終的にどの部分まで Slack でカバーできるかを検討する旨、そのために試験運用を進めていく旨を述べた。

2点目は協議会の評価についてであり、横のつながりが薄いため協力を容易に仰げるシステムをつくることを目標にしているとした。議員の方は強力な権限を持っているので、それに足ることをしてほしいとし、来月以降、どのような立場にいてどのようなことをしてどのような関係性を築いているのかを整理するために、どういう役割を担っているのかを詰めていくことになる」と述べた。

3点目は議員数の整理についてであり、議員の増加や削減を検討している。このままでは塾生代表が不慮の事故等で欠けた場合に議会が開けなくなってしまうため、塾生代表の副大統領のような立場の人間を設定する必要があるが、それは誰がなるべきなのかを今年中は検討していくとした。

8. 連絡事項

議事部長 在原拓哉より次回全塾協議会について、2/24（木）の13時から実施することを伝えた。また、詳細については後日改めて連絡すると伝えた。

9. 閉会宣言

事務局長 清瀬竜世が閉会を宣言し、22時35分に閉会した。